

授業科目(ナンバリング)	地域観光研究 B(アメリカ・ヨーロッパ) (CA227) (実践的教育科目)			担当教員	竹田 文雄 (実務経験のある教員)		
展開方法	講義	単位数	2 単位	開講年次・時期	2 年・前期	必修・選択	選択
授 業 の ね ら い							アクティブ・ラーニング の 類 型
・世界文化遺産、世界自然遺産を中心に、広範に点在する主要観光資源の特色を踏まえながら学修する。 アメリカ： 移民、開拓、商業主義に紐づいて今日に至る「地域ごとの多様性」を認識する。 ヨーロッパ： 美術や宗教の変遷と人々や国家の歴史を経て成立した「文化の多様性」を認識する。 ・主要観光資源の解説にはヴィジュアル資料も使用することにより、魅力の本質の理解度を深める。 ・総合旅行業務取扱管理者試験「海外観光資源」出題内容に対応する。							②⑨
ホスピタリティ を構成する能力	学 生 の 授 業 に お け る 到 達 目 標					評価手段・方法	評価比率
専門力	世界文化遺産、世界自然遺産を中心とする代表的な観光資源の情報を的確に収集し、「いまの様相」を説明できる。					・随時試験	30%
情報収集、 分析力							
コミュニケーション力	学内外での授業への積極的な参画、およびアクティブラーニングの実践ができる。					・授業参画度	15%
協働・課題解決力							
多様性理解力	多民族多文化が共生するこれらの広範な地域に存在する主要観光資源群の「地域ごとの多様性」を理解し、取りまとめることができる。					・随時試験	55%
出 席						受験要件	
合 計						100%	
評価基準及び評価手段・方法の補足説明							
随時試験 2 5 点 (授業の理解度。ポートフォリオ小テスト。授業 4 回目に実施。) 随時試験 5 5 点 (授業の理解度及び明解度。ポートフォリオ小テスト。授業第 1 5 回目に実施。) 授業参画度 2 0 点 (授業課題への取組み姿勢、質問・コメント等の有無とその回数。) 諸々のフィードバックは、ポートフォリオを用いて、または授業時間内に適宜実施していく。							
授 業 の 概 要							
担当教員の旅行業実務経験（海外専任ツアーコンダクター・海外商品企画事業・国内商品企画事業・海外現地法人勤務（サイパン・ホノルル・ローマ・ロスアンゼルス）と知見を踏まえた実践的授業である。主要な世界遺産について、視聴覚的教材も使用しながら、文化的・歴史的背景を踏まえた上でこれら主要観光資源の「いまの様相」を学修していく。多様な観光資源を見ていくことから、「気づき」や「感想」を学生がポートフォリオを用いて発信できる機会も設けていく。なお、学修上のキーワードを「文化の多様性」と設定する。またカリキュラムの進行状況によって方面を入れ替える場合がある。この授業の標準的な 1 コマあたりの授業外学修時間は 1 8 0 分とする。							
教 科 書 ・ 参 考 書							
教科書：『きほんを 学ぶ世界遺産 1 0 0 世界遺産検定 3 級公式テキスト』 世界遺産検定事務局著 マイナビ出版 参考書：授業中に適宜紹介。 指定図書：『アメリカ素描』 司馬遼太郎著 新潮文庫 『ヨーロッパものしり紀行』 神話・キリスト教編 紅山雪夫著 新潮文庫							
授業外における学修及び学生に期待すること							
「地域ごとの多様性」と「文化の多様性」にどれだけ興味を持てるか、がポイント。また、彼の地から発信されるニュース、例えば「地球温暖化に伴う海面上昇が特に冬のヴェネツィアにどのような影響をもたらすか」「カリフォルニア州の森林火災がナパバレーのワイン生産にもたらす重大な影響」等に日頃から関心を持つことに期待する。加えて「欠席・遅刻・早退・私語」の無い授業進行への参画も期待する。 特に「私語」は厳禁。							

回	テ ー マ	授 業 の 内 容	予習・復習 ・テキスト読みが中心。 ・予習は書き表すこと。
1	オリエンテーション 北アメリカ大陸 9/26	該当諸国・地域の地理的關係、歴史的關係を把握する。 アメリカ合衆国およびカナダの自然遺産と文化遺産 の特徴を把握する。	アメリカ合衆国、カナダの 世界遺産を調べる。
2	北アメリカ大陸・中部アメリカ 10/3	メキシコ、中部アメリカの自然遺産と文化遺産の特徴 を把握する。	アメリカ合衆国、カナダ、 メキシコの世界遺産を調 べる。
3	中部アメリカ・南アメリカ大 陸（１） 10/10	中部アメリカ、南アメリカ大陸の先住民文化、自然遺 産および文化遺産の特徴を把握する。	中部アメリカ、南アメリカ 大陸の世界遺産を調べる。
4	中部アメリカ・南アメリカ大 陸（２） 10/17	中部アメリカ、南アメリカ大陸の先住民文化、自然遺 産および文化遺産の特徴を把握する。	中部アメリカ、南アメリカ 大陸の世界遺産を調べる。
5	ヨーロッパの世界遺産につ いて 10/24	世界遺産を始めとするヨーロッパの観光資源につい ての全体像を把握する。	ヨーロッパの国々の位置 關係を地図で確認する。
6	ヨーロッパ（１） 10/31	英国の文化遺産、ノルウェーの自然遺産の特徴を把握 する。	英国、ノルウェーの世界遺 産を調べる。
7	ヨーロッパ（２） 11/7	ドイツ、ポーランドの文化遺産の特徴を把握する。	ドイツ、ポーランドの世界 遺産を調べる。
8	ヨーロッパ（３） 11/14	オーストリア、スイス、クロアチア、ギリシャの自然 遺産および文化遺産の特徴を把握する。	オーストリア、スイス、ク ロアチア、ギリシャの世界 遺産を調べる。
9	ヨーロッパ（４） 11/21	スペインの文化遺産と自然遺産の特徴を把握する。	スペインの世界遺産を調 べる。
10	ヨーロッパ（５） 11/28	フランスの文化遺産の特徴と歴史を把握する（１）。	フランスの文化遺産、歴 史、美術を調べる。
11	ヨーロッパ（６） 12/5	フランスの文化遺産の特徴と歴史を把握する（２）。	（続）フランスの文化遺 産、歴史、美術を調べる。
12	ヨーロッパ（７） 12/12	イタリアの文化遺産の特徴と歴史を把握する（１）。	イタリアの文化遺産、歴 史、美術を調べる。
13	ヨーロッパ（８） 12/19	イタリアの文化遺産の特徴と歴史を把握する（２）。	（続）イタリアの文化遺 産、歴史、美術を調べる。
14	ヨーロッパ（９） 1/9	ヨーロッパ大陸史について把握する。	ヨーロッパ史全般を概観 しておく。
15	総復習 期末随時試験 1/16	総復習。 これまでの学修内容の習得度、理解度に関して試験を 行う。	予：14 週までの授業全体 のレビュー。